

# 荒川ゴミペットボトル最多

荒川河川敷のごみ拾い活動に取り組んでいるNPO法人「荒川クリーンエイド・フォーラム」(江戸川区)は、2012年に集めた6472袋分のごみの内訳を発表した。最も多かったのはペットボトルで4年連続。回収したごみ全体の約22%を占めていた。



荒川沿いで行われたごみ拾いの様子(荒川クリーンエイド・フォーラム提供)

## 全体の22% ■ 2万7678本

同フォーラムは1994年から荒川沿いのごみ拾いを行っている。昨年は都内から埼玉県秩父市までの133会場で実施し、ボランティア延べ1万3443人が参加した。

昨年1年間に回収したごみ袋(45㍻)6472袋分のごみの種類を分析したところ、最も多かったのはペットボトルの2万7678本。次いでたばこの吸い殻(1万8086本)、食品のポリ袋(1万4603枚)と続いた。

同フォーラムによると、近年の環境に対する意識の向上で、意図的にペットボ

トルを川に捨てる人は減っているとみられ、落ちてい

るものは、強風や増水などにより、ごみ箱や収集所などから流れてきた可能性が高いという。

同フォーラムの伊藤浩子事務局長は「ペットボトル

は便利だが、使ったら持ち帰るなど、河川敷で捨てない努力をしてほしい」と提案している。